

# DX変革による生産性5割UPは可能領域

## ●DX変革を怠ると、2027年に生産性で韓国、台湾に追い越される

バブル期には、日本は生産性で欧米先進国に並んでいた。空白の30年間で日本はデフレ停滞していたが、諸外国は軒並み5割増しの水準に伸ばした。生産性は賃金に比例反映されていて、欧米先進国は日本の5割増しである。

## ●行き過ぎた日本のリスクマネジメント

手元資金のゆとりが、コロナパンデミックを乗り越えた企業も多い。しかし、行き過ぎた守りの自己資本貯め込みが、攻めの経済成長を止めた空白の原因でもある。生産性向上への積極的投資が求められている。

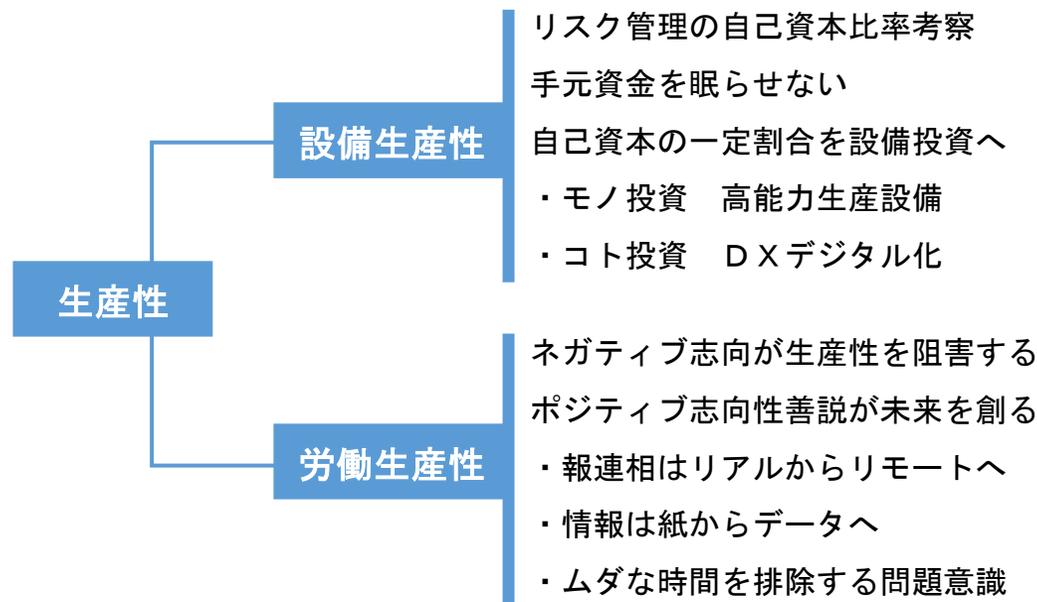
$$\text{時間当り生産性} = \frac{\text{付加価値額}}{\text{労働時間}}$$

= 売上高 - 外注仕入 (簡易計算)  
総従業員の労働時間

## ●時間当り生産性が企業の真の実力

生産性は、財務的な設備投資による高能力化で付加価値を高めることと、従業員の専門技能を高めてリードタイムを短縮する労働時間で向上する。

## 時間当り生産性 日本は先進七カ国中、最下位である





BSC視点	経営課題	戦略マップ	重要成果指標
<b>財務の視点</b> <b>目的</b>	<b>収益性の一気挽回</b> ・1年後の収益基盤構築 ・5年後の盤石黒字体質	<div style="text-align: center;"> <p><b>純利益倍々戦略</b></p> <p>DX推進による売上高成長性 → サプライチェーン変動費低減 → DX推進によるコスト低減</p> <p>モノ+コトの新ビジネスモデル → 働き方の多様性で固定費低減</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高</li> <li>営業利益</li> <li>借入金返済額</li> <li>自己資本比率(手元資金)</li> </ul>
<b>顧客の視点</b> <b>目標</b>	<b>DX顧客の創造</b> カスタマージャーニー ・相性新規顧客の獲得 ・既存顧客満足受注増	<div style="text-align: center;"> <p>顧客満足体験による受注増大 → 取引先協業物流システム最適化 → 社員満足を得る労働時間短縮</p> <p><b>オンライン→オフライン Win-Win三方よし理念</b> (売り手よし、買い手よし、働き手よし)            O2O→OMO オンラインの迅速意思決定とオフラインのリアル親和性の融合による顧客満足体験の醸成</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受注量</li> <li>新規顧客獲得率</li> <li>ターゲティング見込客成約率</li> <li>総顧客数</li> <li>受注リピート率(回転率)</li> </ul>
<b>業務プロセスの視点</b> <b>手段</b>	<b>顧客満足実現策</b> <b>リモート&amp;リアル融合</b> ・業務活動スピード化 ・新サービスの創出 ・生産性の劇的向上	<div style="text-align: center;"> <p><b>小さなクラウド電子本部</b></p> <p><b>データの共有見える化</b>            ・いつでもどこでもアクセス自由自在            ・データ閲覧、画面共有、共同作業            ・経営リードタイム圧縮でスピード化</p> <p>属性データ+行動データ販促展開            ・ビッグデータプラットフォームの活用            ・AI、IoT、自動化、共有化によるDX推進            ・仕入先、協力会社とのサプライチェーン            ・スピーディな顧客対応で信頼度醸成</p> <p>省力化コスト圧縮、労働時間縮減            ・移動時間と車維持費、出張旅費の削減            ・拠点の縮小、廃止による賃借料削減            ・テレワークなど多様な働き方の展開            ・地震自然災害に無縁の電子データ本部</p> <p>オンラインマーケティングプロモーション            リモート&amp;リアル営業            出張先会議            オンライン商談            テレワーク            リモート会議            DXサプライチェーン協業調達</p> <p>顧客 顧客 シェアオフィス 自宅 支社 不要 本社 縮小 工場・倉庫 縮小 自宅 不要 営業所 不要 協力会社 仕入先</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バリュージャーニーDX化率</li> <li>顧客接触面談数</li> <li>顧客ニーズ収集数</li> <li>顧客問題解決提案数</li> <li>新製品サービス開発数</li> <li>カイゼン提案現場導入数</li> <li>生産性向上率</li> <li>労働時間短縮率</li> </ul>
<b>人材と変革の視点</b> <b>知恵</b>	<b>組織のデジタル化</b> <b>変革へのプラス志向</b> ・自前DX人材育成 ・変化への生涯学習 ・存在価値の働き甲斐	<div style="text-align: center;"> <p><b>新常態DXデジタルデータ化 ペーパーレスプロジェクト</b></p> <p>全てがデータで繋がるDXオンライン社会への対応を急ぐ(自前のDXスキル人材育成)</p> <p>書類の2S整理整頓 → 書類の書式標準化 → 制作データ化 Word, Excel, PPT → システム化要件定義 → クラウドサーバ閲覧見える化</p> <p>・整理は不要書類の排除            ・整頓はフレームワーク            9割はムダ資料を認識            資料スペースの地代認識</p> <p>・成文化は経営活動の要            ・分かり易し標準書式化            フォルダー大中小分類名            ファイル名称ルール決め</p> <p>標準に沿ったデータ化            ・Excel 計算自動化            ・Word 基盤の方針、規則            ・PPT 企画書、提案書</p> <p>全体最適互換プログラム            ・セキュリティ対策            ・部分最適で細く速く            ・欲張らない汎用性重視</p> <p>どこでも仕事ができる場所            を選ばないオンライン環境            ・ユーザーフレンドリー            ・PC、スマホ、タブレット接続</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX人材数</li> <li>DX研修回数と研修時間</li> <li>プロジェクト運営スタッフ数</li> <li>プロジェクト会議数と時間</li> <li>ペーパーレス率</li> <li>電子データのクラウド移転率</li> <li>クラウド閲覧数、閲覧率</li> <li>社員のクラウド評価</li> </ul>

